

親子連れら200人 料理長の技学ぶ



プロのアドバイスを受け、差さずしぐりに挑戦する親子。熊本市ホテルキャッスル

JA熊本 米消費拡大へセミナー

米の消費拡大を図る。また、和食の料理長は二十日、プロの料理のアドバイスを受けながら親子三組が巻きずしづくりに挑戦。熊本市立瀬田小一年の酒匂萌子ちゃんも一きれいに巻くのは難しかったけど、初めてやってみて楽しかった」と笑顔をみせていた。最後は参加者全員で、おにぎりづくり。丸や三角の形をした大小のおにぎりを、子どもたちはおもしろいほおぼった。

組みについて親の立場から発表。「限られたお金の中でやりくりすることは、自分の価値観を見直す機会にもなる」「小遣いを通じ、自分で物事に優先順位を付けることや計画性を身に付けさせた」などと話した。会場には、三家庭で使っているお小遣い袋や明細書、お小遣いシートなども展示。米国での事例報告もあった。県食の安全・消費生活課の伊藤敏明課長は「子どもたちの金銭教育には学校、社会そして家庭が連携して取り組むことが大切」と話していた。

今春小学校入学のひとり親家庭激励

熊母子寡婦福祉連合会

▽熊本A 下村秀行五段 新谷良徳三段▽同B 佐藤和貴三段 清家保寛三段▽同C 工藤勝弘二段 岩木宏則二段▽同D 柳山正敏四段 牛島敏昭三段▽同E 坪井祐一三段 古澤貴治三段▽菊池市 角田喜久雄三段 松永幸雄二段

今春、小学校に入学する県内のひとり親家庭の親子を激励する「新入学児童のお祝い会」が二十日、熊本市南千反畑町の県総合福祉センターで開かれた。県母子寡婦福祉連合会(福田茂子会長)が毎年主催し、今年で三十八回目。

会には、市郡代表の親子ら三十七組が出席。熊本善徳銀行の松岡進吾理事と河村至誠事務局長、共同募金会の平田忠雄常務理事が、学用品セットやリュック、ハンカチなどのお祝いの品が入った袋を子供たち一人ひとりに手渡した。

これに対し、菊池郡合

小遣い通し 金銭教育を

熊本市で発表会

子どもの小遣いを通して親に金銭教育の大切さを認識してもらおうと、「熊本おこづかい会議」が二十日、熊本市手取本

町のくまもと県民交流館パレアで親子ら約七十人が参加してあった。県と県金融広報委員会が主催し、消費者教育NPO法人・お金の学校くまもとが運営に当たった。

県内在住のファイナンシャルプランナー赤松裕さん、佐藤名、美さん、梅久美子さんの三人が、それぞれの家庭での取り

文化園

◇第20回「熊本能」

20日、熊本市大江の県立劇場であった「写真。宝生、観世、金春、喜多の任熊4流派が毎年開いている。宝生流が活動の拠点を福岡に移すため、4派合同の公演は今回が最後。観世流は、菊本澄代のシテ、飯富雅介のワキで、大・木曾義伸を討たれた巴御前を主人公にした「巴(ともえ)」を上演。笛や鼓の音が響き渡る中、巴御前の男勝りの勇ましさと天を失った悲しみを演じた。宝生流は「鶴亀」、金春流は「杜若(かきつばた)」、喜多流は「五輪書」を上演。福岡の大蔵流による狂言もあった。



都市代表者戦出場をかけた対局する参加者。熊日本社